

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成19年度第3回臨時会
開催日時	平成19年8月30日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：村田委員、服部委員、浅野委員、木山委員、一方井委員、小西委員、大澤委員、木曾委員 事務局：小池館長、奈良副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 報告：西東京市図書館の現況について（事務局） 2 その他
会議資料の名称	1 西東京市図書館協議会平成19年度第2回臨時会会議録 2 （仮称）保谷駅前公民館・図書館利用者懇談会【記録】 3 西東京市行財政改革に伴う図書館の取り組みについて 推移と現況 4 近隣市図書館との比較一覧 5 図書館配置図
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長 時間になりましたので、会議をはじめさせていただきます。</p> <p>本日の第3回臨時会では、西東京市図書館の現況について事務局説明を聞きます。その前に第2回臨時会会議録の内容についてお諮りし、指摘がなければ承認させていただきます。それでは、本日の議題に入る前に事務局報告をしていただきます。</p> <p>館長 8月4日と11日に住吉公民館と下保谷図書館で（仮称）保谷駅前公民館・図書館について利用者懇談会を開催しましたので、要点を報告させていただきます。</p> <p>8月4日に住吉公民館で実施した懇談会の内容ですが、出された主な意見・要望等の中で駅前施設については、「駐車場はあるのか。台数は何台か。無料なのか。」という質問が複数ありました。それに対して「2街区ビル全体の来館者用として32台、荷捌き用として3台整備する予定である。管理組合が管理する駐車</p>	

場となるので、公共施設、民間テナントへ来る人が共用で使うことから一定の料金設定をすることを考えている。」と回答しました。

「自転車の利用者が多くなると思われるが、駐輪場施設はあるのか。」という質問に対して「駐輪場は、2街区ビル全体の共用設備として整備する。駐輪場については、建物の附置義務である254台分の整備を計画している。」と回答しました。

「子どもたちが自転車に乗って図書館へ本を借りに行くことを考えると、安全に通えるような考えはあるのか。」という質問に対して「道路整備については、市は積極的に取り組んでおり、できるだけ安全な自転車の走行ができるように図書館としても関係各課に働きかけて安全な走行ができるよう協力していきたい。」と回答しました。

開館の時期についてですが、「6月中の開館が大丈夫か。」という質問がありましたが、「全庁的に努力していきたい。」と回答しました。併せて「6月開館に向けて9月補正予算を計上しました。」と回答しました。

8月11日に下保谷図書館で実施した利用者懇談会では、駐車場・駐輪場関係の質問が何件ありました。また、積極的に施設を使ったらどうかという意見が2件ありましたので紹介しておきます。

- ・(意見) 幼児トイレを外に置くことで、第一会議室以外での親子利用の時も幼児用トイレを使用することができるというメリットがある。利用する側が考え方や発想の違いを超えて共有できたらいいのではないか。
- ・(意見) 公民館が駅前に移ることで、いままで使っていた方は不便になるが、社会教育が広がっていくメリットはあるのではないか。地域の中で培ってきたものを還元するという意味も考えられるのではないかと思う。

具体的な質問では、下保谷図書館集会室等の今後の利用について「図書館移転後も部屋の使用は可能なのか。」という質問に「図書館が移転した後、跡地での建設工事が始まって跡施設が使えなくなるまでの間、現在の集会室と和室は引き続き使用ができる方向で検討している。」と回答しました。

以上が、8月4日、11日に行いました利用者懇談会の主な内容です。

委員 4日、11日とも交通環境の質問があったが、回答したのは誰でしょうか。

館長 私が回答しました。

委員 事業を進めていくにあたって、図書館に限って言えば、小さい子どもたちの安全が一番だということを頭に入れておいてほしいと思います。

会長 続いて事務局から「西東京市図書館の現況について」を約1時間半お話しさせていただきます。

館長 副館長から説明させていただきます。

副館長 西東京市図書館の現況について、資料-3「西東京市行財政改革に伴う図書館の取り組みについて 推移と現況」の目次に沿って説明させていただきます。

す。

目次

- 1 西東京市行財政改革大綱（第1次）について
- 2 西東京市地域経営戦略プラン 第2次行財政改革大綱について
- 3 西東京市図書館の現況
 - (1) 合併後の西東京市図書館の主な事業
 - (2) 行政評価一覧
 - (3) グラフで見る図書館事業の推移（平成13～19年度）
 - (4) 現行の西東京市図書館における委託業務の分析
 - (5) 西東京市図書館窓口業務の現況

1 西東京市行財政改革大綱（第1次）について

「西東京市行財政改革大綱」は、平成14年7月に策定され、実施期間は平成14年度から平成16年度までの3年間とされた。このなかで、コスト意識・マネジメント意識を持った行政運営を図ることを目的とする民間委託・嘱託化の推進が実施項目のひとつに掲げられている。

大綱なかで、図書館の管理運営については、「図書館の管理・運営業務委託化の推進」に取り組むことが求められている。

図書館では、以下のとおり運営方針を定めた。

(1) 窓口業務について

図書館の窓口業務は、現行の図書館嘱託員の活用をさらに推進する。

これによって、図書館組織定数の見直しを計画的に進めていくものとする。

(2) 窓口業務以外の業務について

既の実施している委託業務の見直しと拡充は、今後もさらに進めていく。

そのほかに委託が可能な業務については、さらに委託化を推進していく

以上のことを図書館の結論として出しました。

2 西東京市地域経営戦略プラン 第2次行財政改革大綱について

平成14年度から16年度までを実施期間とする「西東京市第1次行財政改革大綱」の成果を踏まえ見直しが行われた。その結果、36項目について「終了」とし、37項目を「継続」または「再構築」して第2次行財政改革を策定した。

平成17年9月に策定された「西東京市地域経営戦略プラン - 第2次行財政改革大綱」は、図書館の実施項目に対し、再構築（現行の内容・方法を見直して取り組む項目）を指示することとなった。

戦略プランなかで、図書館事業の見直しについては、民間活力の積極的な導入・協働の推進に取り組むことが求められている。

続いて行財政改革大綱を受けて西東京市図書館の現況を説明します。

3 西東京市図書館の現況

(1) 合併後の西東京市図書館の主な事業

平成13年1月21日の田無・保谷市合併で西東京市が誕生してから平成19年度まで、西東京市図書館で施行した主な事業について説明します。（資料参照）

(2) 行政評価一覧

西東京市では、全庁的に行政評価制度が実施されている。図書館の主要事業に対して、行政本部がどう評価しているか説明します。(資料参照)

(3) グラフで見る図書館事業の推移(平成13～19年度)

1. 図書館費の推移 2. 図書館費の人件費とその他経費の比較の推移 3. 人件費の中の職員人件費と嘱託員報酬の割合 4. 貸出冊数の推移 5. 予約受付件数の推移を数字とグラフで見せて説明します。(資料参照)

(4) 現行の西東京市図書館における委託業務の分析称

平成19年度現在、西東京市図書館が委託している業務について説明します。(資料参照)

(5) 西東京市図書館窓口業務の現況

ア 図書館窓口業務は、図書館正規職員と図書館嘱託員の協働によって運営されている。

イ 図書館嘱託員は、西東京市市民嘱託員制度に基づく64名の嘱託員を全館に配置している。(平成19年度現在)

ウ 図書館職員及び図書館嘱託員の配置は資料のとおりである。

次に資料-4「近隣市図書館との比較一覧」を基に、他市との比較を説明します。

1. 人口・面積・登録者 2. 施設概要 3. 蔵書 4. 開館日・開館時間 5. 利用実績 6. 組織 7. 予算 8. 基本指標について、西東京市図書館と協定を結んでいる四市連絡協議会(武蔵野・三鷹・小金井)及び多摩六都(小平・東村山・清瀬・東久留米)の各自治体図書館と比較したものです。(詳細については、資料参照)

資料-5「図書館配置図」は、西東京市図書館6館1分室を半径1キロメートルエリアで結んだものです。

どの地域に住んでいても歩いて行ける範囲に図書館があるということになります。

今後、ひばりが丘地域での新座市民、保谷地域での練馬区民の利用者も課題になったきています。

会長 説明について、質問はありますか。

委員 「西東京市図書館はがんばっている」という感想を持ちました。質問が3件ありますのでお答えください。

- ・ 図書館30周年事業は、具体的には何を実施したのか教えてください。
- ・ 行政評価の中で、CD貸し出しについて、聞きたいものが少ない。蔵書が足りないと思う。
- ・ ホームレスについて、西東京市はどうですか。

副館長 図書館30周年事業について、平成17年8月に中央図書館、翌年6月に下保谷図書館が30周年を迎えるということで、この期間を設定し、「大人のための朗読会」、子どもたち向けに「スタンプラリー」、「下野谷遺跡出土品展示会」、「利用者懇談会」等を実施しました。

館長 行政評価のしくみは各課で実施している事業を評価するもので、平成17年度試行、18年度～20年度本実施。3年間で評価事項を決めて評価した。評価事業を選考して評価する。1次、2次、3次評価をし、評価実績を報告する。

CDについては、予算を縮小しろという話ではない。図書館でなければならない資料収集・資料提供、CDレンタルショップで手に入らないものに特化する。継続的に資料構成していくことが結論です。

ホームレス対応については、西東京市に限らないが、図書館に来る方は誰も拒まない。マナー違反や不快感を与える方に対しては、要因を取り去っていただくから図書館を利用してもらうよう協力を願っています。

委員 害がなければ出ていけとは言えない。他との関係でどう見るかである。利用者のふるまいが、図書館に限らずサービス業全般、特に公共機関に対するマナーの欠如が目立つ。今までは手をこまねいていた。市全体の運営の中で位置づける必要がある。横暴な利用者に対して市全体で取り組む。行政全体で考えていく問題である。

質問ですが、30周年事業の中で利用者懇談会には何名人参加者があり、どういう意見が出たのでしょうか。また、開館時間の説明で西東京市図書館は定期的な館内整理日がないのでしょうか。総開館時間数を各自治体別に出してほしい。

副館長 定期的な館内整理日はありません。

委員 事務連絡等のための会議は、月1回程度必要だと思います。

副館長 利用者懇談会は2回開催して、各1名の参加者でした。

委員 大きなポスターを作成して掲示したり、開催時に放送するなり、もっとPRした方がよかった。

委員 組織として見れば、図書館の実績をもっとPRした方が良いと思う。市の管理者に説明する事が必要だと思います。

登録者数の出し方は、西東京市の方法は適切だと思うが、26.8%というのは高くない。全国平均は、38%程度だが、これだけの実績があつて平均以下なのはおかしいと思う。200万冊以上貸出していることを見ると、3割は超えるべきだと思う。

どれだけの市民に支持されているか、どこで計るかということ、登録率の役割は大きい。市窓口との連携も図るべきであると思う。

委員 転入者に案内を出すとか、図書館側から行動をおこすべきだと思う。少なくとも登録率は35%くらいはほしい。新しい登録者をどう獲得するかが課題である。

職員1人当たりの貸出年間処理数が、約35,000冊というのは多過ぎる。25,000冊程度が妥当な量である。解決策としては、職員を増やす等の対策が必要である。

委員 練馬区で導入している自動貸出機の効果も検討してみる必要があるのではないか。

委員 話を聞いて西東京市の図書館行政を実感した。質問・意見が3件あります。

- ・利用している柳沢図書館では、窓口の職員がよく変わる。
- ・本を借りるとエンピツで線が引いてあることがある。
- ・ひばりが丘図書館は埼玉県民の登録者が多いと聞くが、比率はどの程度か。

副館長 嘱託員数が増えた。中でも週2日勤務の人が多いためによく変わる印象を与えるのではないか。

線引きに対しては、張り紙をしたり、展示会をしたりしています。

登録者数に関しては、事業概要を見ていただければわかると思います。

委員 利用実績で、予約受付件数が約50万件というのは、圧倒的に多い件数である。利用者の満足度はどうですか。

副館長 平成15年、17年に実施した利用者アンケートの結果では、5段階で4の評価をいただいています。

副会長 西東京市図書館はどうあるべきか、人的配置を含め数字だけでなく、どういう効果をあげているか資料としてほしい。

図書館職員が現在考えている課題を出してほしい。

検討部会の下に小委員会を設置してはいかがでしょうか。

会長 9月27日に提言策定のための協議を行います。その前に、今後どのような資料を作成してもらおうか、打合せをしたいと思います。

委員 会議の名称は、準備会でよいのではないのでしょうか。

副会長 準備会を月1回程度開催したいと思います。

会長 9月13日(木曜日)、午後3時から5時の予定で検討部会準備会を開催しますのでよろしくをお願いします。